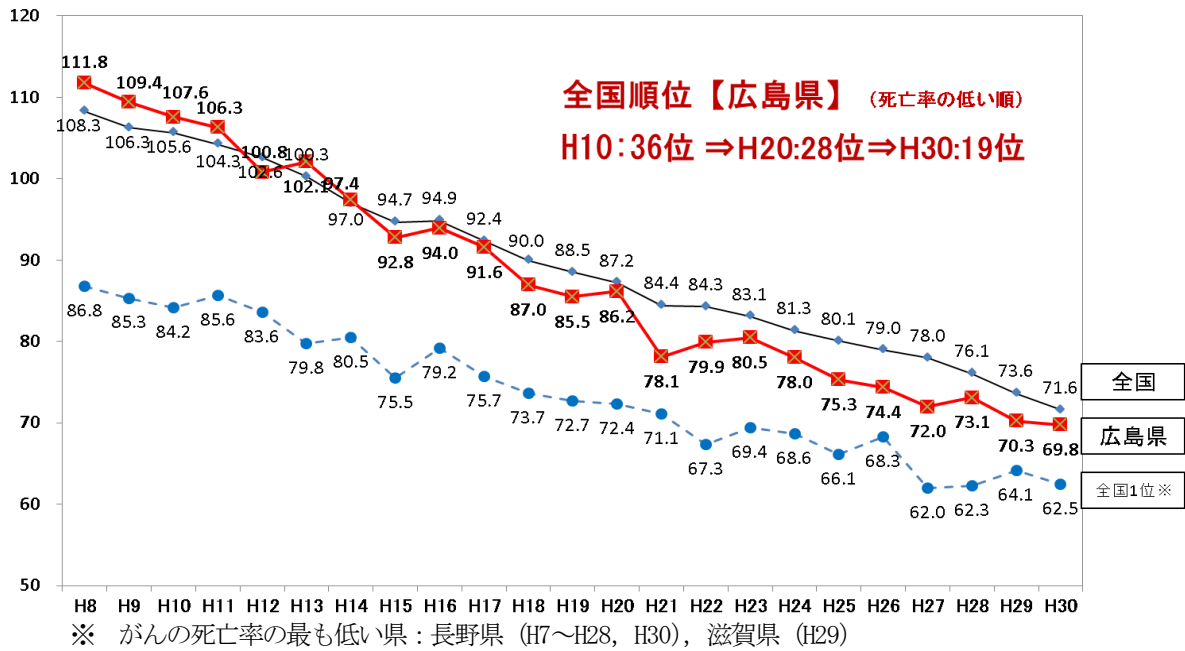


年齢調整死亡率（全体目標）の状況について

第3次計画の目標 = 75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の減少
 「遅くとも第4次計画期間内（R6～R11）に全国1位」
 [本計画最終年 R5 (2023) 年時：58.0 人以下]

悪性新生物75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）年次推移



（単位：人口10万人当たり人）

	H10 (1998)	H20 (2008)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2016)	H30 (2018)	R5 (2023) 【目標】
男女計 (全国)	105.6	87.2	79.0	78.0	76.1	73.6	71.6 [▲17.9%] (▲32.2%)	—
男女計 (広島県)	107.6	86.2	74.4	72.0	73.1	70.3	69.8 [▲19.0%] (▲35.1%)	58.0
男	151.5	113.6	96.3	92.2	93.5	90.7	87.1 [▲23.3%] (▲42.5%)	—
女	69.8	61.4	54.5	53.7	54.7	51.5	54.1 [▲11.9%] (▲22.5%)	—

【出典】 国立がん研究センターがん対策情報センター

注：（ ）はH10年，[]はH20年と比較した場合の増減割合

- ・ 今年度からスタートの第3次広島県がん対策推進計画においては、「遅くとも第4次計画期間内」（R6～R11）に、がんの死亡率（人口10万人当たりの死亡者数）全国1位」を目標とし、平成30年にはがんの死亡率67.2人を目指していたが、実績は69.8人と目標を下回る結果となった。
- ・ 前年の数値より減少しており、長期的な傾向としては、全国平均を上回る率で着実に減少している。

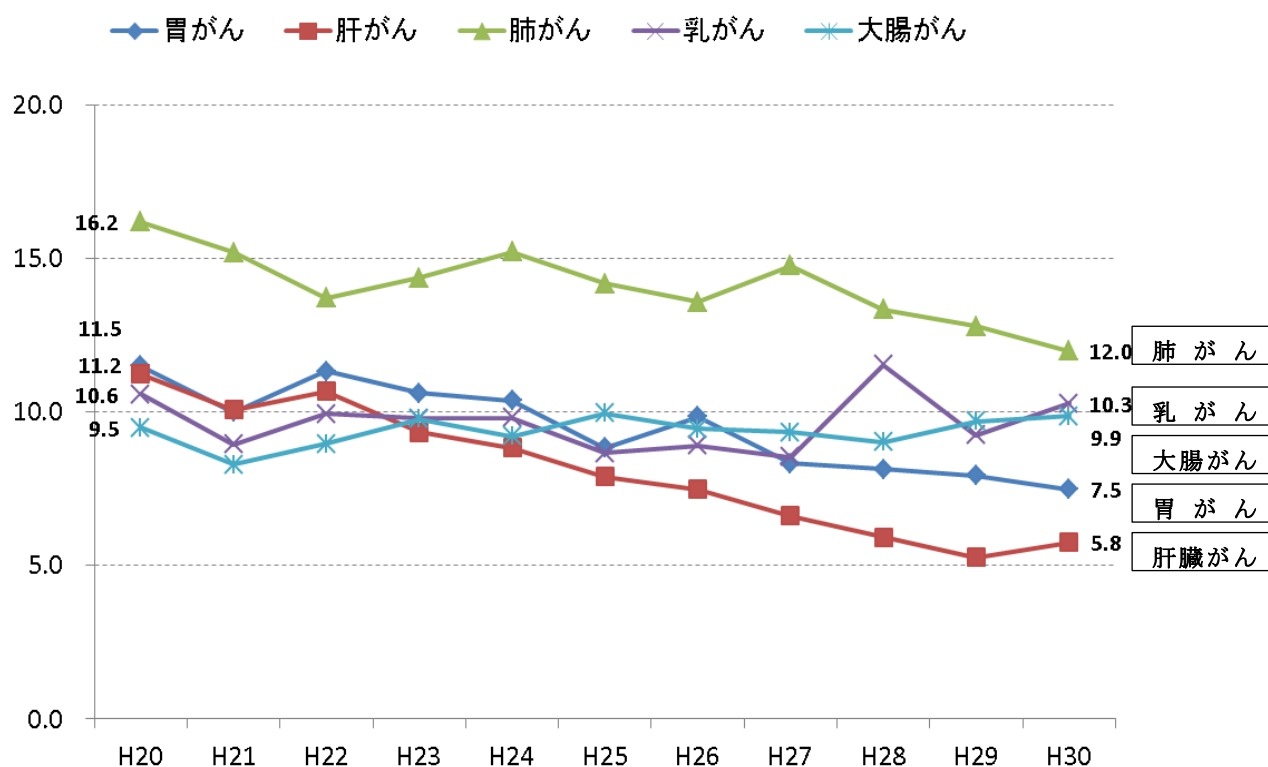
◇ 全国及び本県の主な部位別の状況

平成 30 年のがんの死亡率

(単位：人口 10 万人当たり人)

区 分	胃がん	大腸がん	肺がん	肝臓がん	乳がん
全 国 (H20→H30 増減率)	7.7 (▲37.2%)	10.0 (▲5.1%)	12.8 (▲16.2%)	4.2 (▲51.3%)	10.7 (▲1.0%)
広島県 (H20→H30 増減率)	7.5 (▲35.0%)	9.9 (4.1%)	12.0 (▲26.0%)	5.8 (▲48.8%)	10.3 (▲2.8%)

広島県のがんの死亡率の部位別の推移 (H20～H30)



・平成 20 年から平成 30 年までの推移をみると、10 年間で「肺がん」は 16.2 人が 12.0 人、「肝臓がん」は 11.2 人が 5.8 人、「胃がん」は 11.5 人が 7.5 人となり、いずれも減少傾向にあるが、これら以外の部位は概ね横ばいとなっている。